



11月25日(月)に6年生は、小山田小6年生と合同人権学習を行いました。水平社宣言に書かれているキーワード(人としての誇りをもつこと・団結することの大切さ・人は尊敬されるべきもの)は、明るくあたたかい差別のない社会の実現に向けて大切なことであることを学びました。授業の中で、「人を差別する」の反対語は「人を尊重・尊敬する」ことだとも話しました。「『尊敬する』では言いすぎだ」と思う人がいるかもしれませんが、どんなに欠点が多い人でも尊敬できるところが必ずあります。人の尊敬できる側面を見ることで、人と人は平等で対等な関係になります。その人のことを全面的に尊敬できなくて否定し、批判するところがあってもいいと思いますが、尊敬する面と必ずセットでその人と付き合っていくことがとても大切なことだと思います。授業の中では詳しく扱いませんでしたが、「人を尊敬する」ということがどういうことなのか少しでも考えてもらえたら幸いです。

6年生が授業後に感想を寄せてくれましたので、少し紙面を借りて皆さんに紹介し、共有したいと思います。

- けんかをして、いやな人がいても差別はダメ。差別するぐらいなら人を尊敬しないとだめだと思った。『尊敬』って、いい言葉だなあって改めて思った。
- 自分は絶対に差別をする人間にはなりたくないと思った。この差別を未来に残すことがないように。
- 差別は戦争と同じぐらいだめで、行動や言葉の戦争だと思った。「友だちって大事なな!」って思った。
- 「水平社宣言」の水平は差別のない水平だとわかった。差別をしないこともそうだし、反差別(差別をしない人)のなかまを作ることが大切!
- 差別はよくないことだと改めて思った。「水平社宣言」という言葉を初めて聞いたけど、なかまは本当に大切に、居ると安心できると思った。差別は残さないし、許さないことが大切だと思った。
- 生まれた場所で差別される人がいることを初めて知って驚いた。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」の通りの世の中にするために、反差別のなかまを作ろうと思った。「なかま」の大切さをよく知ることができた。
- 差別をしてはいけないと思っても、「自分は大丈夫」または「これは差別ではない」と思っても、知らず知らずのうちに差別をしてしまっているかもしれないと思った。今までの発言を振り返り、差別になるかもしれない発言は、これから言わないし、もし、差別をされていて、いじめられたり、避けられたりしている人がいたら、僕が助けて、少しでも差別をなくすと決めた。
- 人を差別するんじゃないで、人を尊重する! 人を尊重できるなかまを作る。人としての誇りを持つこと、団結することの大切さ、人を尊重することの大切さがわかった。
- 西光万吉さんは「なかまがいたから負けなかった」って言っていたけど、そのなかまのおかげで万吉さんの勇気が出たと思うから、その勇気となかまはすごく大事だなと思った。



子どもたちの感想の中に、『差別をしてはいけないと思っても、「自分は大丈夫」または「これは差別ではない」と思っても、知らず知らずのうちに差別をしてしまっているかもしれない』という内容がありましたが、私も本当にそうだと思います。話が少しそれますが、ジャンケンパーがグーに勝ち、グーがチョキに勝ち、チョキがパーに勝つというようにルールができています。後だしジャンケンの要領で、一人の人が何かを出した後に、相手が①同じものを出す ②勝つものを出す ③負けるものを出す ということをやった場合、少しずつ早くしてゲーム感覚でやると、圧倒的に③負けるものを出す ということが出しにくくなります。また、「魚の絵を描いてみてください」と課題を与えると、何も言っていないのに、圧倒的に左側に頭がくる絵を描く人が多くなります。これまで生きてきた中で身についたことは、なかなか変えることが難しい、ということの意味しているのかもしれませんが。

社会は刻一刻と変化していて、SNS上には人を誹謗中傷する言葉が毎日のようにあふれています。その中には間違っている情報も数多くあり、子どもたちは情報社会の中で誤った情報にふれる機会も多くなってしまいます。SNSの情報をうのみにしてしまうことは、真実を誤認してしまうことになり、とても危うく危険なことだと私自身感じています。だからこそ、自分の意識を振り返るために、人権学習を重ねていく意味があるのだと考えています。

水平社宣言の「尊敬」には、『人の存在そのもの、生きている事そのものが尊い』という理解があります。当時、西光万吉やその仲間たちは「人の世に熱あれ 人間に光あれ」という結びの言葉にどんな思いを託したのでしょうか。1922年3月3日に京都の岡崎公会堂で全国水平社創立大会が開催されました。100年前の差別をなくそうとした先人たちの思いに心をはせ、ひと(相手)を大切にする意味を一人ひとりが振り返るきっかけになればと思います。授業で紹介できなかったシートを裏面に載せますので見てください。(文責 北住 昌文)